

昭和十九年十月十日

# 戰鬥詳報

獨立混成第十五聯隊第二大隊配屬  
獨立速射砲第七大隊第一中隊

獨立砲射隊第十一隊第一中隊戰鬥詳報

十月十日 晴天 最高二十六度 風 向西北 速一米

一 戰鬥前夜偵察、獲知

一 中隊ハ伊西夜命第三十九號ニ基キ八月廿七日以後上ノ如ク命令ヲ下達シ之ヲ遂行シテノ戰鬥ハノ開始ヲ定メテ、戰術準備ヲ整ヘリ、二 戰術隊ヲ遣行

二 獨立砲射隊第一中隊命令 十月八日二二三〇 伊西國國兵學校

一 中隊ハ四夜命第三十九號ニ基キ因夜偵察ヲ下令セリ

二 中隊ハ伊西夜命第三十九號ニ基キ因夜偵察ヲ下令セリ、伊西訓練ニ應ジテ之ヲ遂行シ、戰鬥準備ヲ整ヘリ、三 夜ノ砲射隊隊員ヲ西面偵察ニ遣ハシ、

左記

川崎長	少尉	山下	武夫
舟崎長	少尉	柏尾	準二
赤崎	上等兵	合島	義人
1	一等兵	泛口	勝次
2	上等兵	末同	好直
3	上等兵	水落	勝三
4	一等兵	指下	英三
5	上等兵	田中	喜三
6	上等兵		

四 各小隊ハ半團團長官ヲ夜天幕幕下トス

五 糧秣燃料ハ各分隊陣地内ニ分散格納スヘシ

六 各分隊ハ敵軍一抽ノ彈ヲ各五〇發宛ニ射撃シ得ル如ク準備シタルヘシ

七 大隊本部陣地トシテ左記如ク設営スヘシ

左記

八月 傳令 上等兵 八尋 政次郎

九月 兵長 三好 秋男

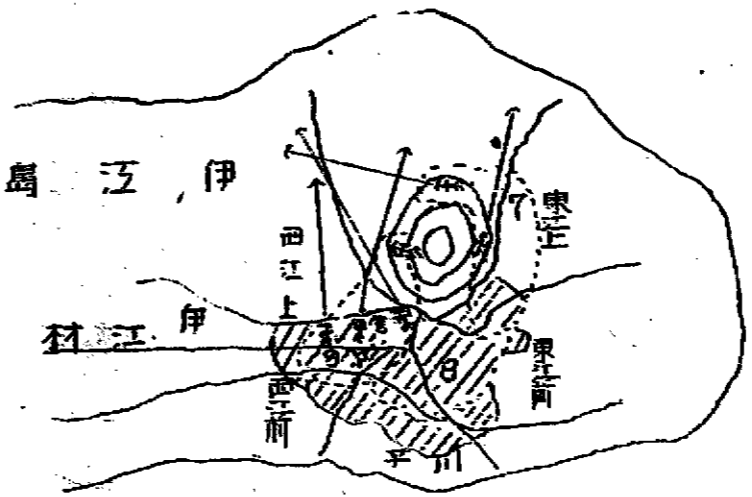
ハ各小隊ハ一日間ニ於テ水ノ使用量ヲ本日三〇〇〇匁ニ報告スヘシ

九 九夜命第三十九號ニ基キ、前隊隊員等ト連絡スヘシ

下達法 各小隊長ヲ集メ口頭報告セシム

3 戦闘開始前ニ於ケル配備状況

陣地配備略図



撃シテ後伊豆島ヲ攻撃ス

一 前隊ハ甲斐戦術ヲ受領ス

二 各隊ハ戦闘配備ニ付テは應戰戦術ヲ固守シ陣地ヲ確保シ、後上率ヲ進捷ヲ圖ルヘシ

三 各隊ハ前隊ニ基キ射撃及投擲ノ術ヲ習ハシム

四 兩隊對射撃ニ際シテハ必至ニ確信ヲ得ル場合ニ射撃シ極力彈藥ヲ節約シ必ヘシ

五 各隊ハ第一次ニ於ケル諸報告ヨリ速ニ提上スヘシ

六 本日昼食ハ獲帶口糧ニシテハシム

七 兩隊命令受領者ヲ戰闘司令所ニ差出スヘシ

八 余ハ戰闘司令所ニ在リ

戰 闘 隊 長 代 理 諸 江 大 尉

下 隊 長 命令受領者ヲ集メ口糧點記シム

7 四 隊 命 令 中 隊 命 令 下 隊

隊 一 中 隊 命 令

一 中隊ハ四 隊 命 令 三 十 號 二 基 基 甲 斐 戦 術 ヲ 実 施 ス 各 山 隊 ハ ス タ ニ シ ル 配 備 ニ 付 テ 應 戰 備 戦 術 ナ ン 據 内 侍 應 極 力 敵 行 隊 偵 察 撃 撃 損 害 ノ 減 少 並 ニ 陣 地 形 態 二 般 二 般 ト 共 一 極

第一 各 隊 長 夫 々 陣 地 へ 精 察 二 隊 長 二 隊 長

二 各 隊 長 備 天 幕 露 營 三 依 リ 丘 へ 敵 行 隊 偵 察 期 間

偵 察 工 事 進 捷 ヲ 圖 ル

4 日 早 朝 隊 期 間 如 ク 本 隊 方 向 ニ 進 行 偵 察 工 事 ヲ 行 空

襲 撃 察 知 ス 間 斷 ナ キ 爆 撃 工 事 間 々 行 工 事 中 ナ リ 陣 地 二 寄

陣 地 二 寄 射 撃 工 事 中 ナ リ 陣 地 二 寄 射 撃 工 事 中 ナ

陣 地 二 寄 射 撃 工 事 中 ナ リ 陣 地 二 寄 射 撃 工 事 中 ナ

陣 地

5 敵 八 〇 七 〇 〇 頃 伊 豆 島 上 空 ニ 投 擲 シ 〇 七 〇 〇 〇

兵 合 一 國 民 学 校 一 村 空 襲 ス

〇 十 日 〇 八 〇 三 〇 左 記 此 區 隊 命 令 ヲ 受 領 ス

左 記

四 隊 命 令 三 十 號

十 日 早 朝 隊 期 間

戰 闘 隊 命 令

一 本 朝 〇 七 〇 三 敵 戦 隊 連 合 二 十 八 機 前 隊 本 隊 爆

カ工事ノ進捗ヲ圖ルヘシ

各小隊ハ左記ニ基キ戦闘準備ヲ完了スヘシ

左記

- 1 カソリン油
  - 2 彈藥積集ノ分散
  - 3 肉攻用爆藥ノ準備
  - 4 對空射海上ニ對スルニ際セル警戒受容
  - 5 諸情報ノ確保及散行ノ勵行
  - 6 夜間射撃ノ編成、標定火砲ノ整備
- 三余ハ本町山ニ在リ

隔 一 中 隊 長 諸 江 大 尉

下序云 各小隊長ニ口宣ス

- 8 本朝敵機隊各約二十八機即本島ヲ襲撃シタル後七、〇三伊豆島ヲ空襲セリ
- 9 部隊ハ甲種戦闘ヲ實施ス
- 10 上空ニ亂舞セル敵機本島ヲ覆ヒ一方我軍重ク活動セラルル状況下ニ於テハ戦況ノ推移ヲ豫察シ準備ヲ早急ニラシムヘクハクセ、三ノ戦備ヲ定ム

二 戦 況 怪 圖

1 第一隊 預。比。比。比。間。約。二。十。八。機。可。海。上。々。々。花。回。偵。察。二。機

2 第二隊 一。二。三。〇。三。機。反。復。攻。撃

3 第三隊 一。二。三。五。二。機

4 第四隊 預。比。比。比。間。約。二。十。八。機。可。海。上。々。々。花。回。偵。察。二。機 反。復。花。回。攻。撃

2 我ハ極力壕内ニ避匿シ敵機ニ對シテ、敵機二百米以下ナル高度ニテ未襲セル時撃墜ノ射撃ヲナス

3 一八、三ノ敵機行機ハ、トモニニ偵察ヲ續行シヤリ

4 中隊ハ今後、敵ノ上陸ニ備ヘ極力戰備ノ充實ヲ計ル

ち 既 闘 既 果 ナシ

三 敵ノ團符號及兵力符號アル裝備ヲ戰之其ノ他廢汚トナルヘキ事項

1 敵ハ海上艇艇部隊ヨリ出テタル偵察機 11架ナリ

2 敵戦闘機ハ二〇機機體ヲ裝備シアリ威力アリ又上空偵察機ヨリ射撃シ得ル、裝置アリ

3 敵機ノ攻撃ノ趨キ、進入方向ハ概シテ全隊同一経路ヲ通過ス

三波代 損害甚巨

1 敵ニ突ヘタル損害不明

2 中隊ノ損害

戦死 一 對空監視中

重傷 一 同 右

3 経路敵機ニ襲用セル所ナルモ將兵一同に氣盛ニ旺盛ナリ

三死 傷表兵 器損件表別紙ノ如ク



歐戰詳報第一號附表

昭和十九年七月十日 中隊兵器損耗表

考 備	總 計	獨立連射砲 第七大隊 第一中隊	部 門		種類	損 耗
			隊 分	備 註		
	6 1		包定銃山 區 砲連七四	砲		
				藥		
			銃 小	兵		
				砲		
				彈		
				藥		
				器		
				材		
				器		
				具		
				材料其他		

失



附録 七編

濁流河口港作今(昭和二十一年) (1120)

今(昭和二十一年) (1120)

- 一 敵艦の沈没... (1) 敵艦の沈没... (2) 敵艦の沈没... (3) 敵艦の沈没... (4) 敵艦の沈没... (5) 敵艦の沈没...

下達法 既成先 三二單

旅團長代理 宇土大佐

注意

一 各隊ハ敵艦沈没時ニ於テハ迅速動作ヲ確立迅速トシタルカク更ニ演練ニ無益ノ損害ヲ

二 噴霧ノ運送ヲ更ニ迅速ニスヘシ

三 噴霧ノ運送ヲ更ニ迅速ニスヘシ

四 各隊ハ更ニ練成セル運送ノ速ク分隊運送ヲ下リ敵艦ヲ撃滅スヘシ

五 予ハ伊豆味ニ在リ



獨混口四液作命(1520)

10.10.17.0  
味

- 一 敵軍の侵入を防止すべし。...
- 二 隊内ハ依然ハ...
- 三 各隊ハ益ニ...
- 四 各隊ハ更ニ...
- 五 予ハ伊豆味ニ在リ

旅團長代理 宇土大佐

下達法  
既成先  
電報ニヨリ付達前印刷交付  
練場下一般  
三二單

注意  
一 各隊ハ敵軍の侵入を防止すべし。...

二 隊内ハ依然ハ...

三 各隊ハ益ニ...

四 各隊ハ更ニ...

五 予ハ伊豆味ニ在リ

諸作命

第十六号

獨立連射砲 第七大隊 第一中隊 命令

一〇二〇一八〇  
伊江島

一中隊ハ益々對空警戒ヲ嚴ニシテ万邊感ナキヲ期スルト共ニ昼夜兼行陣地ノ完整ニ努メントス

二各小隊ハ本夜徹宵迄休ヲ繰成スヘシ  
三指揮班各小隊ハ陣地ニ夫々警備任務ヲ現在敵ノ三分ニテ更ニ分散配置スヘシ

池上曹長ハ各小隊長ト連絡シテ其ノ注意ニ任スヘシ

四川上少尉ハ自衛軍ノ偽裝ニ關シ特示スベシ  
五余ハ本部山ニ在リ

中隊長 諸江大尉

下達法

各小隊長ニ曰達筆記セシム

四作令 第三二節

地区隊令

伊江島戰事司令所

一地区隊ハ旅團命令ニ基テ防衛担任区域内ノ損害ヲ  
左ノ要項ニ依リ調査ス

1. 地方側人員ノ被害

2. 民家其他ノ被害状況

3. 一般人心ノ動向

二各隊ハ將校一下士官一兵ニテ前記要項ヲ別ニ示ス  
区域ニ付調査ニ十八時迄ニ報告ス(ニ)

地区隊長代理

諸江大尉

下達法

要旨ヲ傳ヘタル後命令受領者ヲ集メ口達筆記  
セシム

諸作命

第十七號

獨立運射砲第七大隊第一中隊命令

伊江島

一中隊ハ西作命第三二號ニ基キ一部ヲ伊江島部落内ニ派  
遣シ地区隊防衛担任区域以テ授官ヲ調査セントス  
ニ山下少尉ハ大西兵長 樋口上等兵 江里口一等兵指揮シ  
左記事項ヲ調査シテ。部隊副官ノ許ニ其ノ結果ヲ整  
理提出スヘシ

左記

1. 地側人員ノ被害
2. 民心ノ動向
3. 指導
4. 搜索

下達法

山下少尉以下ヲ集メ口達セシム

中隊長

伊江大尉

附表第一號  
獨混四旅作命第五二號(10/20)

獨立混成第四旅團命令

一〇二二二〇  
伊豆 味

一 十月上旬神繩本島ニ到着ヲ予定セル有カナル戦術圖  
ハ敵情並ニ天候ノ變化ニ依リ入港日時未定トナレリ  
二 南地区隊ハ獨混四旅作命第四七號第三項ニ依ル任務  
ヲ續行シ泊地ノ掩護ヲ益ニ強化スヘシ  
三 北地区隊ハ同第四項ニ依ル作業隊ヲ準備スルニ切  
刀期間ハ之ヲ未定トシ別命ス  
四 予ハ伊豆味ニ在リ

旅團長代理

宇土大佐

下達法

電話後印刷配賦

配賦先

隸指揮下一般

報告先

三二軍

附表第十三號

第四旅作令 第五旅 ( )

獨立隊 第四旅團 ( )

一 敵情ニ關シテハ 二 通報ニシテ 敵機ノ來襲等ニ  
實トリ

實トリ

二 各隊ハ出陣ニ配属ヲ完了シ 敵機ノ處置ニ遺憾ナク

期スヘシ

三 敵情附近高射部隊ハ 敵機ニ復讐セシメラセ

予定ニ付 撤收ノ準備ヲ急ス

細部ハ部員ヲシテ指示セシム

旅團長 宇土大佐

宇土大佐

下達法 要旨 電話後 印刷 付

配賦先 標指揮 下一般

報告先 三二軍



附表第十三號

瀨田四旅作命第五三號(記)

獨立混成第四旅團命令

一 敵情ニ關シテハ既ニ通報セル通り敵機ノ來襲甚々確

實ナリ

二 各隊ハ日出迄ニ配備ヲ完了ニ對應ノ處置ニ遺憾ナク

期スヘシ

三 瀨田附近高射部隊ハ近々川屬部隊ニ復敵セシメラル

予定ニ付撤收ノ準備ヲ爲スヘシ

細部ハ部員ヲシテ指示セシム

旅團主任 瀨田南地區隊長

宇土大佐

下達法 要旨電話後印刷交付

配賦先 隸指揮下一般

報告先 三三軍

一〇・二〇五〇〇

伊豆 味



附表第十三号

獨逸第四旅作命第五四號(20)

獨逸第四旅團命令

一〇二三三〇三〇  
伊豆味

一敵機艦隊八本十二日〇二〇。頃宮古島南方約三〇〇。新西進シ。セミヨヨク  
台湾空襲ヲ開始セリ

我々海軍第二航空艦隊ハ九州方面ヨリ沖縄北井及小祿井ニ機動シタル後  
本十二日夕敵機動艦隊ヲ攻撃スル筈

二旅團ハ茨城附近ニ配置セル高射部隊ヲ前所屬部隊ニ復級セシムルト  
共ニ伊江島井ノ補修ニ協力セシム

三高射部隊ハ該地ニ於テ予ノ指揮ヲ受ル前所屬部隊ニ復級スヘシ  
細部ハ部隊員ニテ指示セシム

四伊江島地区艦ハ同地井ノ補修ニ關シ航空隊員隊ニ協力スヘシ  
旅團長伊江島地区隊長 宇土大佐

下達法 軍旨電 語後印刷交付  
既先 録指揮下一般  
報告 三三三 三四印

地区隊命令

伊江島地区隊司令所

一 軍ヨリノ通報ニ依レバ台湾ガランビ一百度五〇。料ニ敵機  
 動部隊接近スナリ日ニ三一。今第二航空艦隊ハ夜間戰鬥  
 隊ハ夜間戰鬥機ト交戦中ニシテ十日來襲セル敵機動  
 部隊一部南下セルモ再北上シ本朝本島ヲ來襲スルコト  
 確實ナリ

二 部隊ハ直ニ配備ニシテ對空戰ヲ配備ニツクヘシ  
 三 各隊ハ人員兵器燃料彈藥糧秣等ヲ隊内ニ秘匿シテ陣地  
 及射擊部隊ノ偽裝ヲ徹底的ナラシメ一人一銃一物ノ損耗ヲ絶無  
 スルト共ニ敵來襲ニ當リテハ必墜ヲ確信シ得ル以内ニ於テ射擊ヲ  
 實施シ敵ヲ擊退スヘシ

四 昼間行動ハ一般ニ禁止ス之ガ爲メ既ニ準備ヲ完了スヘシ

地区隊長代理

諸江大尉

下達法 各隊長ニ單旨ヲ傳ヘタル後命令交授者ヲ集メテ口達筆授セシム

伊江島本郡山

諸作命

第一八号

一〇一三、一三〇〇

獨立遠射砲隊第七大隊第一中队命令

一 敵機動艦隊ハ本十三日ニ本島宮古島南方約三〇〇軒ヲ西進シ  
 〇七三〇台湾ヲ空襲セリノ時計ニ航空艦隊ハ九州方面ヨリ沖繩飛  
 行場及オロノ飛行場ニ渡島シタル後本十三日夕敵機動艦隊ヲ  
 攻撃セル所也

伊江島地区隊ハ同飛行場ノ整備ニ力ニ協力ス  
 中队ハ一部ヲ以テ同飛行場ノ補修ヲ実施ス  
 二 各中队ハ左記兵力ヲ逐刻ニ整備シ、位置ニ差出シ白山准尉ノ指揮ニ  
 入ルベシ

- 指揮班 下一兵三
- 第一中队 下一兵三
- 第二中队 下一兵一
- 三 白山准尉該兵力ヲ指揮シ地区隊ノ飛行場補修ニ任スヘシ
- 四 余ハ一四〇〇飛行場ニアリ

中隊長 諸江大尉

下達法

指揮班長ヨリ予傳達セシム

酒中令

第三回

一〇二二

地區隊命令

伊江島敷司令部

第一回 第四旅作命令 第五回 第四旅 三基 地區隊 八飛行場ノ補修ニ協力  
ニ依テ各隊ハ左記ノ通りニ三三〇迄 戰斗指揮所前ニ集合スヘシ

左記

第七八九中隊

各 四十名

三機 關銃

二十名

獨立 透射砲

三十名

獨立 機關銃

三十五名

工 兵

二十名

ニ各隊ハ先任將校指揮ノ下ニ殘余ノ人員ヲ以テ警戒 戒備ニ作業ヲ  
実施スヘシ

三第三機關銃ニ鈍 獨機ハ四銃ヲ作業場ニ據行シ 防空射撃ニ任スヘシ

地區隊長代理

諸江大尉

下達者

命令受領者 某ノ口達等記セシム

伊西作命 第三五節

伊江島地区隊命令

一 台湾 右邊島方面ニ於テ八月十日正午以テ伊西作命部隊  
中ナリ海軍艦隊部隊艦隊部隊ニ於テ八月十日正午以テ  
伊江島ニ到着セリ艦隊補給ヲ行ハシメテ八月十日正午以テ  
又比手返ナリ

二 地区隊ノ一部ノ兵力ヲ以テ伊江島ニ於テ艦隊補給ニ  
協力スヘシ

三 本部各隊ハ時被ノ指揮スル所ニ於テ艦隊補給ニ協力ス  
補給ニ任スヘシ

四 大隊機回銃獨立機回銃一機ニ付テ右島前隊トシテ飛行場ノ根  
據ニ任スヘシ

五 余ハ〇七〇。中隊行場ニ在リ

地区隊長

西村大尉

下達法

各隊長ヲ集メ要旨ヲ傳ヘ先復命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム



仰西作命 第三五號  
仰江島池已隊命令

一 台灣右邊島方面ニ於テ八月十日十日以降敵機前部隊來高  
中ノ海軍航空部隊艦艇爆撃隊ニ對シテ本十四日ハ敵機  
仰江島ニ到着セリ艦艇補給ヲ受ケル後台灣方面ニ飛去  
スル事見ナリ

二 池已隊ハ一部ノ兵力ヲ飛行場ニ派遣シ機彈ヲ補給ス  
機力又ハシ

三 本隊各隊ハ將校ヲ指揮スル約ナリ飛行場ニ派遣シ機彈ヲ  
補給ス任スル

四 大隊機團銃機槍機銃機一四機ヲ本島南東部隊下ニ飛行場ニ搬  
送ス任ス

五 余ハ是レニ中隊飛行場ニ在リ

池已隊長

西村大尉

下達云  
各隊長ヲ召集シ命令ヲ傳ヘテ後命令書及地圖等ヲ呈示シ口達シテ了ス

前表第十八編

協作命令

第一品類

一〇一四・一七〇〇  
伊江島に於て

獨立連射砲隊第七大隊第一中隊命令

一中隊ハ伊西作命第三五聯ニ基キ台湾方面ニ出動スルニ海軍航

空隊ニ対スル燃彈ノ補給ニ協力ス

ニ指揮班各小隊ハ命令ニ基キ兵力ヲ適切指揮班ノ位置ニ差出シ

池上曹長ノ指揮ヲ受ケテスルハシ

指揮班

池上曹長

各小隊

下一 各々

三池上曹長ハ姓名ノ兵力ヲ併セ指揮班白高軍ニ依リ飛行場ニ急

行ニ同飛行場大隊勤務員ト連絡スルニ

四余ハ亦部山ニ在リ

中隊長

諸江大尉

指揮班長ヲ以テ傳達スル



伊西作命 第三六號

伊江島地区隊命令

一〇、一四、一五〇〇 伊江島殺場ニ於テ

一 情况緊迫ニ敵、上陸企圖濃厚ナルモノ、如シ本島ニ於ケル守備兵力増強、為ノ取隊長ノ指揮スル約一ヶ大隊本夕刻伊江島ニ到着スルナリ

二 地区隊ハ取隊長主力揚陸援護宿營準備ヲ実施セシトス

三 關井中尉ハ大隊機關銃小队獨立機關銃一小隊及第九中隊ノ一

小队ヲ合セテ指揮シ旧攻止場附近、防空射要ニ任ジ各隊ハ該兵力ヲ一六五〇迄ニ旧攻止場附近ニ位置シ關井中尉ノ指揮下ニ入ラシム

四 大隊本部第七八九連射砲ヨリ各下士官ニ兵三ヲ取隊長砲工兵小队ヨリ下士官一兵ニテ運搬大隊副官ノ下ニ差出スヘシ大隊副官ハ

該兵力ヲ指揮シ取隊長ノ宿營準備ヲ実施スヘシ

地区隊長 西村大尉

下達法 各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

附表第二十號

諸作命

第二〇號

一〇二四一六〇  
木部山

獨立連射砲第七大隊第一中隊命令

一中隊八西作命第三大隊二連長大塚隊長ノ指揮スル一大隊到

着ニ伴フ富營準備ニ任スル

ニ松尾伍長大西兵長并上中隊兵八直ニ副官ノ

許ニ里リ同官区処ヲ以テス

ニ余ハ木部山ニ在リ

中隊長

諸江大尉

下達法

各小隊長ヲ集メ筆記セシム

附録第二十卷

諸作命

第二〇號

一〇二頁一六〇  
木部山

獨立運射砲第七大隊第一中隊命令

一中隊八西作命第三大隊二憲隊隊長ノ指揮スル一大隊列

着ニ伴フ屬營準備ニ任スヘシ

二松尾伍長大西兵長井上上等兵栗田上等兵八直上副官ノ

許ニ至リ同官区処ヲ修メシ

三余ハ木部山ニ在リ

中隊長

諸江大尉

下達法

各小隊長ヲ集メ筆記セシム

伊江島

編隊一五作命第五六號

伊江島地區隊命令

伊江島

一 北區隊ハ一部ヲ以テ飛行場附近ニ駐在スルハ勿クシ村落内ニ留ルベシ

二 第一大隊及工兵中隊ハ飛行場附近ニ留ルベシ

三 兩司令諸隊ハ伊江島村落内ニ分散留駐スベシ

四 飛行場附近露營司令官ハ野崎大尉

伊江島村落内ハ西村大尉トシ各露營區毎ニ警備隊及通信隊ヲ配置スベシ

處スベシ

五 隊隊砲中隊ハ伊江城山西麓及學校高地附近ニ陣地ヲ占領スベシ

空射隊ヲ準備スベシ

六 各大隊ハ步兵一小隊MG主力ヲ以テ當時村空射要ノ準備ニアラシムル

ト并ニ對空監視ヲ至嚴ナラシムルベシ

七 諸隊ハ兵器彈藥糧秣資材等一切ヲ洞窟内ニ分散格納スベシ

爆撃ニ対スル損害ヲ絶無ナラシムル如ク速ニ處置スベシ